

(様式2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書(案)

1. 整備計画													
計画の名称	ふじのくに静岡県は無電柱化の推進												
計画の期間	平成30年度 ~ 令和2年度				交付対象	静岡県							
計画の目標	<p>・静岡県及び県内市町が管理する道路の無電柱化を推進し、災害の防止や良好な景観の形成等を図る。</p>												
計画の成果目標(定量的指標)	<p>・「静岡県無電柱化推進計画」に基づく静岡県及び県内市町が管理する道路の無電柱化事業の着手率 (H29: 0% → R2: 100%)</p> <p>・「静岡県無電柱化推進計画」に基づく静岡県及び県内市町が管理する道路の無電柱化詳細設計の着手率 (H29: 0% → R2: 55%)</p>												
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考	
									当初現況値	中間目標値	最終目標値		
									(H29)	(H末)	(R2末)		
①	「静岡県無電柱化推進計画」に基づく静岡県及び県内市町が管理する道路の無電柱化事業の着手率 (評価時点の無電柱化事業着手延長 / 無電柱化事業計画延長 (5.4km)) × 100								0%	—	100%		
②	「静岡県無電柱化推進計画」に基づく静岡県及び県内市町が管理する道路の無電柱化詳細設計の着手率 (評価時点の無電柱化詳細設計着手延長 / 無電柱化事業計画延長 (5.4km)) × 100								0%	—	55%		
③													
全体事業費	合計 (A+B+C)	787 百万円	A	787 百万円	B		C		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)				
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名	全体事業費 (百万円)	備考			
道路		(一) 静岡空港線 坂口			無電柱化 1.60km			牧之原市	310				
事業数		(国) 301号 新居			無電柱化 0.33km			湖西市	65				
8		(国) 414号 杉崎町			無電柱化 0.83km			沼津市	215				
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 -:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)													
計画の移行なし	○	0	△	8	—	0	備考		計画の移行あり	●	0	▲	0
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況													
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況													
<p>・防災、安全・円滑な交通確保、景観形成・観光振興を目的として無電柱化事業に着手。</p> <p>・要素事業である(国)301号新居や(国)414号杉崎町などで無電柱化(電線共同溝)の詳細設計を実施。</p> <p>・令和2年度に「無電柱化推進計画事業補助制度」が創設されたことから、令和2年度補正予算より、「無電柱化推進計画事業補助制度」に移行して無電柱化(電線共同溝)工事を実施中。</p>													
II 定量的指標の達成状況	指標①(無電柱化事業の着手率)	最終目標値		100%	目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値		100%									
	指標②(無電柱化詳細設計の着手率)	最終目標値		55%	目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値		55%									
	指標③()	最終目標値			目標値と実績値に差が出た要因								
		最終実績値											
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況													
事業完了後は、大規模災害時における電柱等の倒壊による道路の寸断防止や、良好な景観の形成などの効果が発現される。													
4. 今後の方針等													
<p>・「無電柱化推進計画事業補助制度」により無電柱化(電線共同溝)の工事を推進し、早期の事業効果発現を目指す。</p> <p>・引き続き「静岡県無電柱化推進計画」に基づき無電柱化事業を推進していく。</p>													

(様式 2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

1. 整備計画														
計画の名称														
計画の期間	平成 年度	～	平成 年度	交付対象										
計画の目標														
計画の成果目標 (定量的指標)														
定量的指標の定義及び算定式														
										定量的指標の現況値及び目標値	備考			
										当初現況値		中間目標値	最終目標値	
										(H 当初)		(H 末)	(H 末)	
①														
②														
③														
全体事業費	合計 (A+B+C)	0 百万円	A		B		C		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)					
事業種別	主な交付 対象事業	要素となる事業名 (事業箇所)			事業内容 (延長・面積等)			市町名	全体事業費 (百万円)	備考				
事業数														
2. 事業の進捗状況 (○: 計画期間中に完成 △: 計画期間終了後に完成見込 -: その他 (備考欄に具体的に記入 (中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、●: 本計画の期間中に完成 ▲: 本計画の期間終了後に完成見込)														
計画の移行なし	○		△		-		備考		計画の移行あり	●		▲		
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況														
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況														
II 定量的指標の達成状況	指標① ()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因										
		最終実績値												
	指標② ()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因										
		最終実績値												
	指標③ ()	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因										
		最終実績値												
III 定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況														
4. 今後の方針等														